

看護師

リフレッシュ研修

平成22年12月から「潜在看護師を対象とした〇」リフレッシュ研修」を含む看護師リフレッシュ研修」を行っています。本研修コースは、各都道府県の看護協会が開設するナースバンクや全国の医療機関と連携し、復職希望のある潜在看護師に山形大学医学部附属病院で〇 the Job Trainings いわゆるOJT・実務をおとしたトレーニングを行っています。らうと言うものです。

経済的な心配なく研修を行ってもらえるよう、研修期間中は非常勤職員として給与を得ながら研修を行います。潜在看護師を対象とした背景には、高齢化社会の進行とともに看護師の需要が高まっています。平成20年5月東京労働局発表によると、看護師求人倍率は4.2倍、看護師の有効求人対充足率は平成18年調査以来8.5%と低い状況が続いていると言われています。

また、全国潜在看護師は65万人存在するとされ、潜在看護師の復職支援は、日本の医療行政上の喫急課題とされています。これまでも、都道府県や病院独自の潜在看護師復職支援事業は少なくとも100カ所以上で行われてきました。一週間程度の期間の座学中心では、医療進歩への適応不安が拭えない（看護技術・）関連知識・医療安全・医療機器・感染管理）、実業に結びつかない、研修期間中の生活保障がないため長期間の研修を受けられないなどの理由で、効果的な潜在看護師の復帰には結びついていないのが現状です。

給与を得て行う潜在看護師研修が、職業人生を伸ばすチャンスとして医療現場に戻る看護師が一人でも多くなれ

ば良いと考えています。現在10名の潜在看護師が研修受講または受講決定をしています。

もう一つのキャリアアップコースは、平成21年度から山形大学医学部で行われてきた看護師の看護技術レベルアップを目的とした研修事業です。

年々医療は高度化し、様々な認定看護師や専門看護師の必要性が叫ばれるようになっていきます。本院では15名の認定看護師がおり42国立大病院の中で、看護師数割合からすると第1位です。世界レベルの医療を提供している大病院の特性を最大限に活用し、積極的に〇の要素を取り入れ、認定看護師・専門看護師取得を目指す看護師にも対応した研修が行えるようにグレードアップしています。

